

案件番号	201064
------	--------

質 問 回 答 書

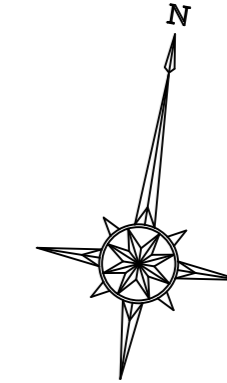
令和 2 年 5 月 13 日

履行名称 太田市立太田高等学校 武道館建設建築工事

No.	図面 番号	設計書 (頁)	質 問 内 容	回 答
1	A-13, 64		既存屋内運動場南側に段差があるようです。新設建物周囲の現状高と設計G Lのわかる資料がありましたらご指示ください。	質問回答書 別紙①
2	A-13, 64		新築建物南側に丸い縞鋼板で蓋をした地下構造体が建物基礎に当りそうですがこれは何でしょうか。	砲丸投げサークルです。先行して発注済みの別途工事にて撤去工事を実施します。
3	A-16, 19, 26		アルミルーバーの参考メーカー型番をご指示ください。屋根裏換気部分と建具部分は同材でしょうか。	アルミルーバー ABC商会 プリカース BLD-3010同等品 屋根裏換気部分はA-48図参照とし、アルミルーバーと換気がらりは一体ではない。
4	A-17		空調室外機基礎の仕様をご指示ください。	土間コンクリートによる架台とする。 A-58図にて断面形状表示。 配筋はS-09図の土間コンクリートに準ずることとする。
5	A-30		断熱エリア発泡ウレタンフォームの施工部分は南側Y1通りだけでしょうか。断熱補強エリアの範囲をご指示ください。	1FLは剣道場床下がり部分の外部に面する範囲 (Y1通りX1～X9、Y2通りX1～X4、X1通りY1～Y2) とする。 2FLは外部梁型納まり範囲 (Y1通りX1～X9、Y2通りX1～X4) 及びバルコニー裏とする。

6	A-30		Y1通り 1階天井裏にALCが内張りしているように見えますが仕様をご指示ください。	図の通り。内張りALCに吹付断熱を行う。
7	A-16, 30, 31, 32		天井裏断熱材t=100, 24kは2階天井裏(ベランダを除く)のみでよろしいでしょうか。	よい。
8	A-36		女子トイレの鏡と化粧ケイカル板との見切り材は応接室と同様でアルミ製でよろしいでしょうか。	鏡と化粧ケイカルの間はラインが天板があり、指摘の納まりはなし。(A22図参照)
9	A-65		解体リストでは現況舗装道路が砕石になっていますがいったん舗装を剥がして砕石状態にし工事完了時に舗装復旧という事でしょうか。	先行して発注している別途工事にて舗装撤去仮復旧を行う。 本工事では砕石による仮復旧の状態から本復旧(アスファルト舗装)を行う。
10	A-66		工事車両通行時は誘導員配置とありますが、朝夕の作業員の通勤時も配置でしょうか。生コン打設・鉄骨建て方時等大型車通行時のみでもよろしいでしょうか。	校庭を工事車両が通行する際に生徒の安全確保を目的として、周囲の安全確認を行う人員を配置するものとする。
11		5	外部足場について設計書では枠組み足場W900とありますが、クサビ足場W600で施工してもよろしいでしょうか。	不可です。
12		26	屋根縦葺き下地が内訳書にはゴムアス防水シートとありますが、矩計図通りアスファルトルーフィングt=1.0が正としてよろしいでしょうか。	ゴムアス防水シート(改質アスファルトルーフィング t=1.0)を正とします。
13		43	軒裏 ケイカル板t=6 突き付けとありますが、突き付けの場合過去に角やビスのまわりが振動等により割れた経験があります。目透しにするか8mm以上にして欲しいと思います。	請負契約締結後に協議するものとする。

14		49	屋外物置についてアルミ物置とありますが、イナバ製のものは全てスチール製です。アルミ製は削除してよろしいでしょうか。	スチール製が正です。参考品番同等品とする。
15	A-66		⑥仮設便所は、学校施設利用者用と考えてよろしいでしょうか。	よい。
16		P57	仮設便所は水洗式とありますが、排水接続先及び配管長、敷設方法（埋設、露出）、接続方法の指示願います。給水についても同様に指示願います。	排水：別途工事による排水枡に接続の計画 配管長：15m程度 敷設方法：露出配管 給水：第2屋内運動場南東部埋設配管より分岐の計画 配管長：30m程度 敷設方法：露出配管（保温あり）



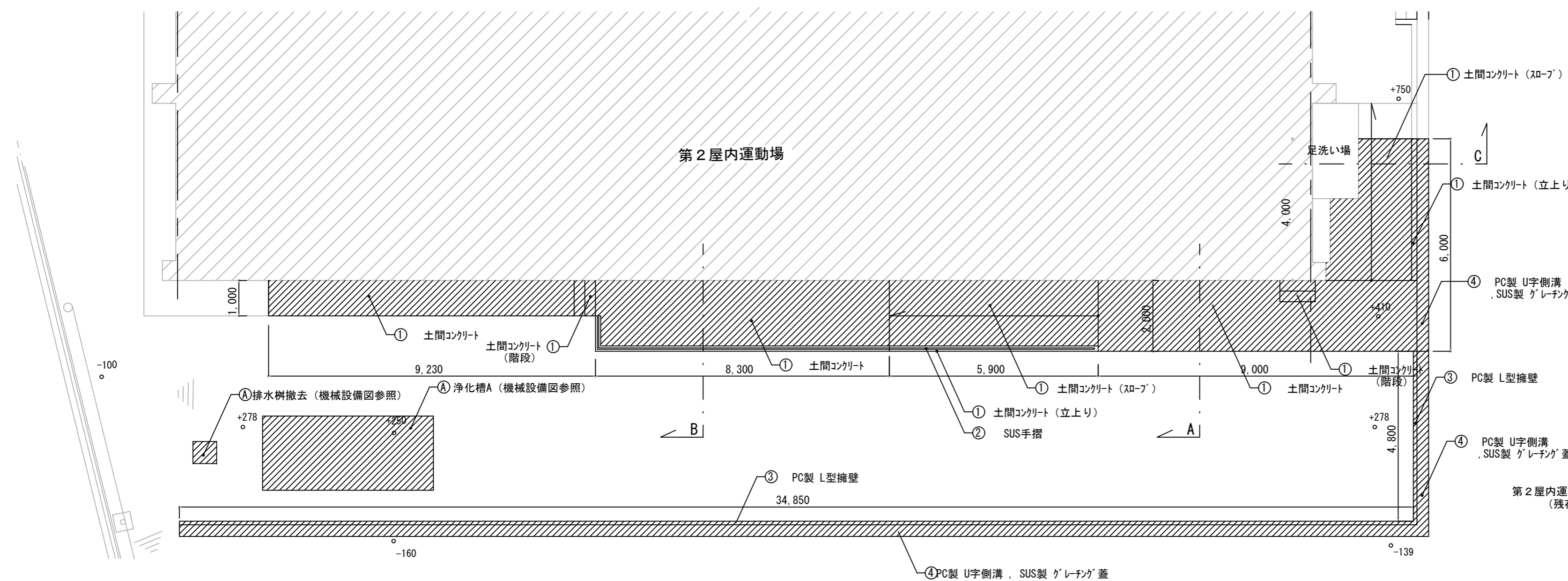
撤去リスト 別別途工事 発注済み

符号	箇所	形状
①	土間コンクリート (通路・スロフ・階段・立上り・犬走り・砲丸投げサクル床)	t=150 D13@200
②	SUS製手摺	手摺45φ、手摺柱35φ@950
③	PC製 L型擁壁	H500 x W600 x t100
④	PC製 U字側溝、SUS製「レチング」蓋	H290 x W330 (外寸) x t50
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		
⑯		
⑰		
⑱		
⑲		
⑳		
㉑		
㉒		
㉓		
㉔		
㉕		
㉖		
㉗		
㉘		
㉙		
㉚		
㉛		
㉜		
㉝		
㉞		
㉟		
㊱		
㊲		
㊳		
㊴		
㊵		
㊶		
㊷		
㊸		
㊹		
㊺		
㊻		
㊼		
㊽		
㊾		
㊿		

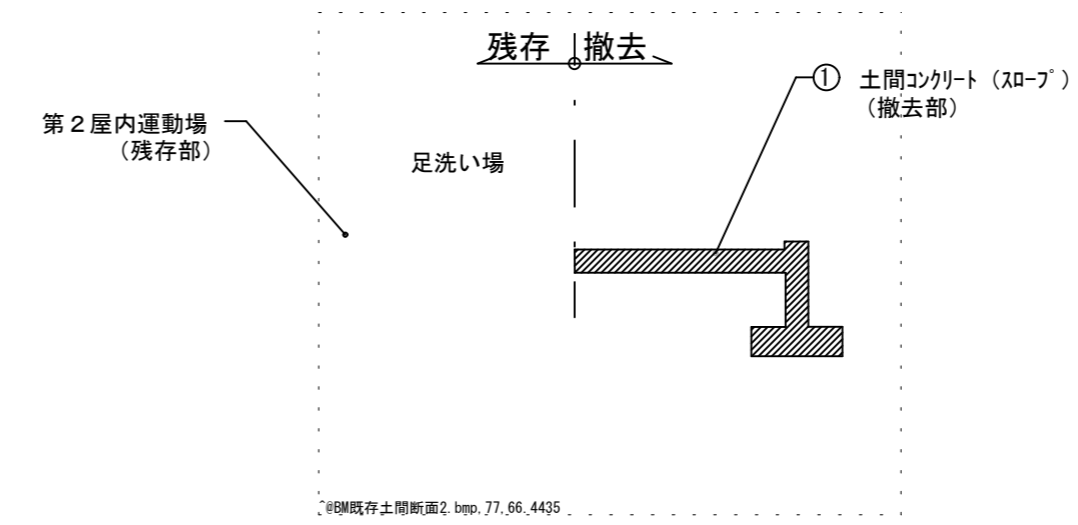
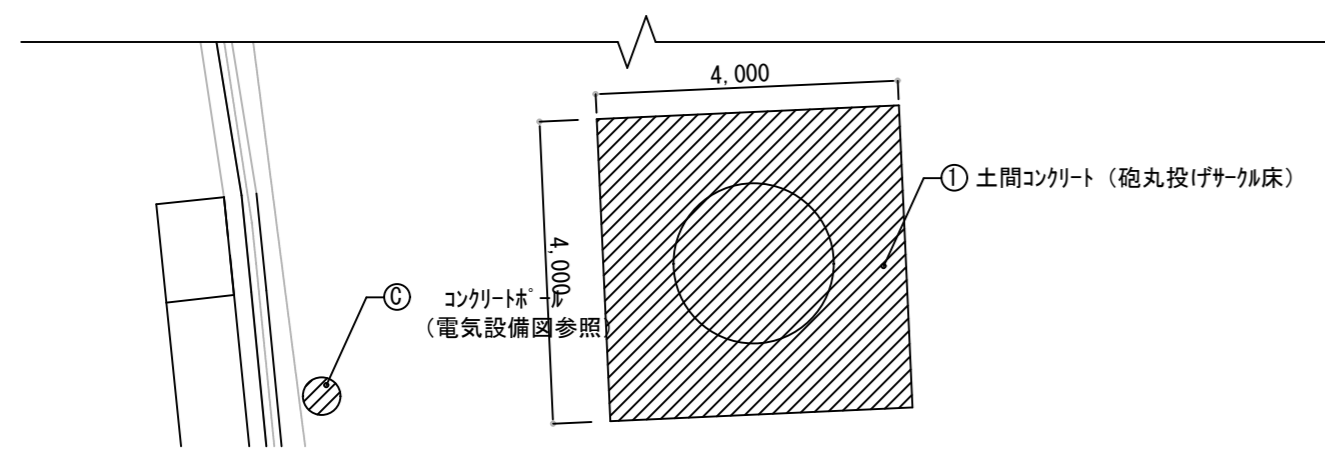
凡例

- カッター入れ
- 既存土間の配筋は定着分 (L=500程度) 残す
- 斜線 --- 解体範囲
- 点線 --- 既存建物

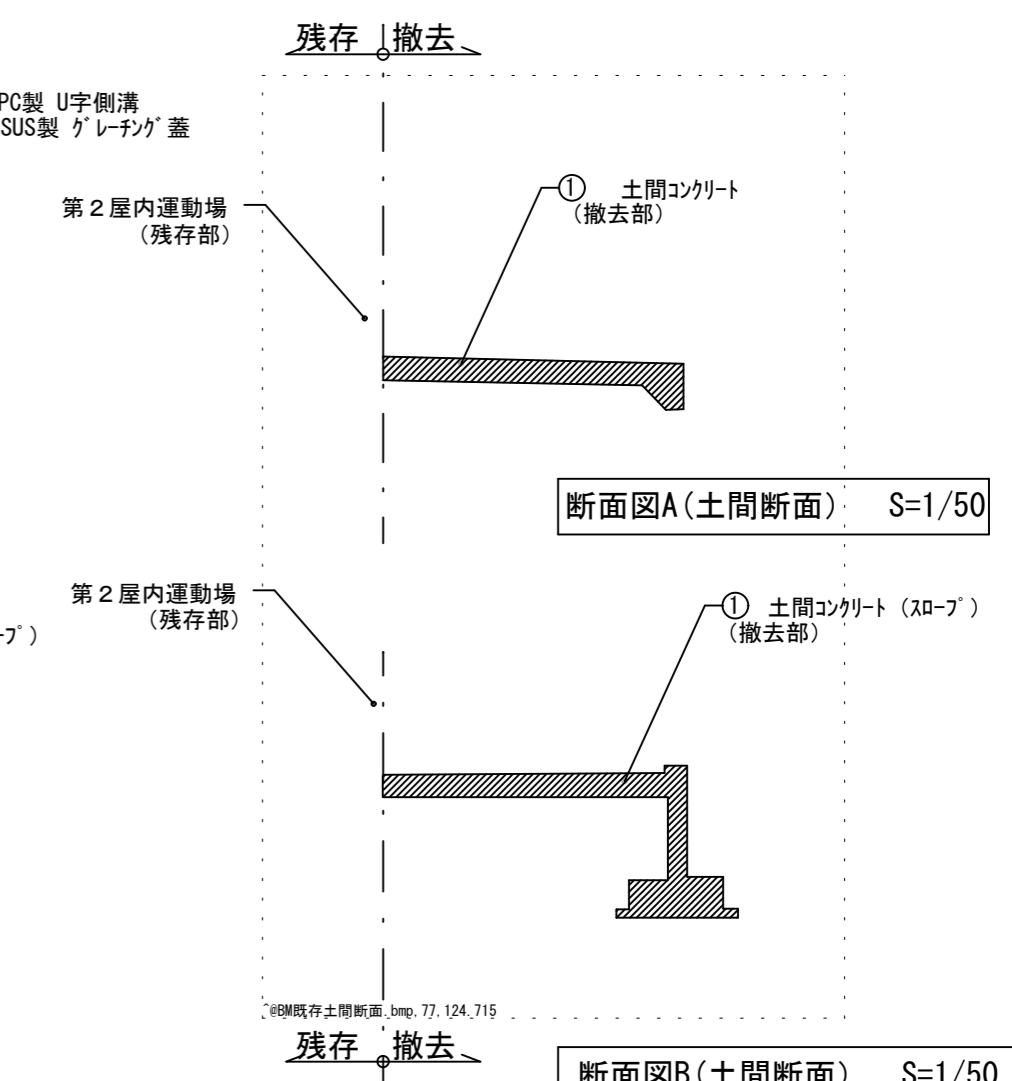
特記事項



解体部分 ① 配置図 S=1/100



断面図C (土間断面) S=1/50 (立上り断面)



断面図A (土間断面) S=1/50

断面図B (土間断面) S=1/50 (立上り断面)